

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	流通システム論 I		
科目基礎情報							
科目番号	0113		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	渡辺達朗、原頼利、遠藤明子、田村晃二 (2008) 『流通論をつかむ』有斐閣.						
担当教員	那須野 育大						
到達目標							
流通システムの現状と役割について、理解を深める。 流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用して、個々の事例に関する自分の見解を述べられるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		流通システムの現状と役割について、幅広く説明できる。	流通システムの現状と役割について、その一部を説明できる。	流通システムの現状と役割について、説明できない。			
評価項目2		流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を十分に述べられる。	流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を不十分ながらも述べられる。	流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を述べられない。			
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	本講の目的は、流通に関する基本的概念と理論的枠組みを習得し、流通システムの進化の方向性を展望することにある。「流通システム論 I」では、流通の構造と小売・卸売業について考察する。						
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、視聴覚教材を交えて実施する。						
注意点	本講では、毎回提出する「授業のまとめ」（授業の要約・意見・感想を書いたもの）の内容を重視する。また、受講生の積極的な発言や意見交換を期待する。 評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。評価方法と評価基準は、本試験に準じる。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス	「流通システム論 I」の目的について、理解できる。			
		2週	流通と商業	流通の役割、品揃え形成活動、商業者の意義について、理解できる。			
		3週	流通の機能	需給接合機能、物流機能、補助的機能（流通金融と危険負担）について、理解できる。			
		4週	流通とモーダルシフト	鉄道貨物輸送の現状と課題について、理解できる。			
		5週	流通再編成の動向	流通再編成の状況、再編成を促す要因（ICT進化、流通のグローバル化、消費市場の変化）について、理解できる。			
		6週	小売業の役割と機能	小売業者の業種と業態、小売業における競争プロセスについて、理解できる。			
		7週	小売業の製品開発とブランド・マネジメント	製造業化する小売業、NBとPB、小売事業のブランド化について、理解できる。			
		8週	ビジネス事例研究（1）	経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。			
	2ndQ	9週	商業集積と中小小売業	小売業の立地と集積、中小小売業存続のあり方について、理解できる。			
		10週	卸売業の役割と機能	卸売業界における再編成の進展、メーカー・卸・小売の関係の変化、大規模小売への成長売業の意義について、理解できる。			
		11週	卸売業の構造変化	卸売業の停滞、上位集中化、再編について、理解できる。			
		12週	卸売業の機能強化	機能強化の量的側面と質的側面、機能強化の戦略的方向、ロジスティクス、物流業務の受託競争、小売本部機能の保管・代替について、理解できる。			
		13週	垂直的分化・統合、流通機能分担のあり方	流通専門業者の登場、流通における機能分担、機能分担に影響する要因、産出水準とオペレーション費用について、理解できる。			
		14週	ビジネス事例研究（2）	経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。			
		15週	期末試験	第1～14回の学習内容			
		16週	成績確認	答案返却、解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	授業のまとめ	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	20	0	0	0	0	50
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30

分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20
---------	----	---	---	---	---	---	----